

神奈川私学保連

NEWS



神奈川私学保護者会連合会 会長 鴨下 博厚

(洗足学園中学高等学校 洗足会顧問)

2021年度の活動について

新型コロナウイルスによる感染症は、ワクチン接種の進展で一定の効果が期待される一方で、変異株の急速な拡がりにより、収束には程遠い状況が続いています。学校の運営や保護者会の活動にも大きな影響をもたらしており、皆様には日頃から大変なご苦労を続けられていることと拝察いたします。

いつ終わるのか予想も付かない感染症による困難が続く中で、2021年度の活動が始まりました。昨年度は様々な組織・団体が今までは違った運営を余儀なくされ、今年度も同様の状況が続くものと予想されます。

神奈川県私学保護者会連合会は昨年引き続き、5月に予定しておりました定時総会を書面での開催といたしました。5月12日に、加盟86校の代表者様宛に前年度の活動・収支報告と、今年度の活動・予算計画案といった総会資料をお送りし、書面決議書に賛否を記入して返送していただく方式をとりました。結果、80校から決議書を送っていただき、書面での総会は無事に成立し、回答のあった全ての団体が賛成の意思表示をしてくださりましたので、議事は全て原案通り可決されました。学校への出校が制限される中で、ご回答くださいます各校の代表者の皆様に、厚く御礼申し上げます。

6月15日(火)に神奈川県私学会館にて、今年度最初の理事会を開催し、総会の成立

と議事の可決を確認して、本会の2021年度の活動がスタートいたしました。今年度は、10年に渡り役員を務め、昨年度は副会長を務めてくださった金子晃久様(英理女子学院)と、柏木学園から出向された西淳子様が退任され、新たに2名の役員をお迎えすることになりました。今年度も役員の方々と力を合わせて、この困難な状況に立ち向かって行きたいと思っております。

さて、2021年度の本会の活動も、とても難しい判断を余儀なくされると考えています。すでに、4月の神奈川全私立中学相談会と7月の神奈川全私学展はオンラインでの開催に変更され、11月の神奈川私学振興大会は中止が予定されています。本年度も多数の参加者が見込まれるイベント・行事の縮小・中止は止むを得ない状況であり、本会の研修事業(バス利用による施設視察や講演会等)も開催は難しいと考えています。

昨年度は、中止した研修事業の代替策として、「私学保連NEWS」の特別編集版を発行いたしました。神奈川県私立学校にお子様をかわせている全世帯に、この時期だからこそ知っておいていただきたい情報をお届けできたことは、大変有意義であったと思っております。今年も同様に特別編集版を作成し、皆様にお届けするべく準備を進めておりますので、お手元に届きました際はぜひご一読をお願いいたします。ま

た感染症の収束が見込まれる場合には、感染対策を講じながら講演会等の開催も検討したいと考えております。

この会の最大の活動目的は、県内の私立学校に通う全ての生徒たちの教育環境をより良いものにしていくことにあります。そのために、私学に共通する願いである公開格差の是正や、私学助成金の増額・拡充といった要請は、絶え間なく続けていかねばなりません。9月8日には、神奈川県私立中学高等学校協会の役員の方々と一緒に県庁を訪問して、県と県議会に対し、私学助成の一層の充実・拡充を請願してまいりました。今年度も引き続き、「学校教育の充実発展に寄与する」目的に少しでも近づけるように活動してまいります。

他にも、主に県などが主催する会議・団体への本会役員のパレード、日本私学保護者会連合会との連携・協力など、この会に求められる役割は広範に及んでいます。今年度も新しい役員の皆様と力を合わせて、充実した活動を続けてまいりますので、加盟校の皆様方には引き続き、本会へのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

◆
今号の「私学保連NEWS」では、「コロナ禍における私学の現状と課題」というテーマのもと、神奈川県私学を牽引して下さっている3人の校長先生方と、県私学振興課長の山中様にご寄稿をいただきました。昨年度末に同テーマでシンポジウムを計画しましたが、感染症拡大の状況で開催を断念、今回、改めて執筆をお願いしてご快諾をいただき、実現したものです。最後までご一読くださいますよう、お願い申し上げます。

「私学のネットワーク」

一般財団法人 神奈川県私立中学高等学校協会

理事長 工藤 誠一

(聖光学院中学高等学校 理事長・校長)



皆さんこんにちは。常日頃より中高協会ならびに神奈川私学全体に対する皆様方のご協力、ご理解厚く御礼申し上げます。昨年来から続くコロナ禍の影響でなかなか学校の教育活動、また、同時に中高協会の活動、そして皆様方の保護連の活動も思うに任せずのものもあると思っております。ただやはり私たちが日頃向き合っておりますのは、未来に向かって大きな夢をもっている子どもたちであります。そうした子どもたちが笑顔で明日に向かって希望を膨らませ、日々を送る事ができる日が必ず来ると確信しております。そうした日々を私たちも共に迎えられるよう現状の中で、できる限りのことをつくして参ることが肝要であると思っております。

こうした中であっても、昨年中高協会では不登校になっている生徒たちが学校に戻れるようにというところで、神奈川私学修学支援センターをスタートさせました。昨年は中学生だけを対象にしておりましたが、本年4月からは高校生も受け入れるということで、現在中学生約20名、高校生約10名ということで計30名の生徒が通ってきております。また、この人員がほぼ定員というところで、是非通いたいという問い合わせ、申し込みをたくさんいただいている現状であります。このことは逆に言うと、いかにこうした問題が現在学校教育の中で大きな問題をもっていることも、伺い知るこ

とができると思っております。

今年オンラインを用いて中学相談会、私学展になりました。本当は従来通りパシフィコ横浜で行われれば良かったのですが、現状を鑑みるとそのようなことは難しいということ、オンラインに切り替えるの実施になりました。これも昨年に比べれば一歩すすんだと思っております。私は常日頃から、それぞれの私学は独立していても、やはりネットワークを組んで前に進んでいくことが大切であるということをお述べてまいりました。

そうした中で今回神奈川県私立中高協会として、教職員も新型コロナウイルスの職域接種を行うことにいたしました。現状4,000名の教職員が申請を出しております。初回が6月28日に私の学校、聖光学院で、前後して私学会館でもスタートします。

更に横須賀地区、鎌倉地区というように広げて参りまして、全4地区そして各地区を1,000名というところで行うことにしました。これは全国でも神奈川だけの試みだと思えます。しかし、ワクチン接種の可能な規模や条件などをみると「1000人以上いなければダメだ」「自分でドクター見つけなさい。看護師もセットにしなさい」というような形になりまして、小さな組織体に配慮がなされていない。

そうしたときにそれを打ち破るのが私学です。それぞれの私学だけではできません。私学がネットワークを組むといった視点から、いち早くそれを行いました。本日は6月21日にスタートの予定だったのですが、残念ながらワクチンが届かない。21日の週には届くように、いろいろな方面から働きかけ、様々なルートも使って何とか28日からスタートできる形です。

併せてドクターの手配するのなかなか大変で

す。その部分では知り合いがあったりして、私学だからそれができる。そういう意味で神奈川私学は一つの学校ではなく、ネットワークを組めばできるということ、それぞれ学校で協力しあってやっています。

保護者連合会の様々な母体の学校から皆さんはこちらへ参加されているわけでありまして、是非ともそれぞれの学校を超えた形で、神奈川私学の生徒たちのために、子どもたちのために皆様大変お忙しいとは思いますが、ご協力を賜りますようお願いしておりました。私のごあいさつとさせていただきます。どうぞよろしくお願ひします。ありがとうございます。

2021年

定時(書面)総会の開催

「神奈川私学の発展のために」

今年度も定時総会は新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点で、神奈川県私学保護者会連合会では書面による開催となりました。加盟校、会員の皆様のご理解・ご協力を得て、すべての議事が承認されました。感謝申し上げます。6月15日(火) 神奈川県私学会館にて開催されました理事會にて、2020年度の役員と2021年度の役員ですべての議事が承認されたことを確認いたしました。

今年度は昨年に引き続き鴨下博厚氏が会長に留任し新たに2名の理事を含め総勢14名の2021年度の役員での活動がスタートしました。新型コロナウイルス感染症の予防のため、今年度も予定している事業の計画変更が予想されますが、神奈川私学の発展のために努力してまいります。神奈川県私学保護者会連合会の加盟校、会員の皆様には、これから本連合会の諸事業のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新役員紹介

新理事
鬼頭 毅

(鎌倉学園中学校・高等学校 鎌倉学園PTA会長)



鎌倉学園は本年11月に創立100周年を迎えます。大正10年というひと時の穏やかな時代から激動の昭和に移り変わる時期に鎌倉中学校として鎌倉の建長寺境内に誕生し、鎌倉学園と校名を変えつつ令和3年に創立100周年を迎えます。その歩みの過程には色々な課題を抱え多くの関係者のご苦労やご尽力があったことだと察します。

100年という長い歴史の中で、鎌倉学園は、色々な時代の要請に応えながら、個性と創造性に溢れ、心身ともに健やかな生徒の育成に取り組み、それによって、今に至る伝統と校風を営々と築き上げるに至っています。そして、多くの優秀な男子を社会に輩出し経済の振興発展に貢献してきました。

礼儀廉恥という鎌倉学園の校訓は、古代中国の「四維」から日本に伝わった鎌倉武士の思想を基にしていると考えられます。少々古めかしく感じるかもしれませんが、鎌倉学園のOBである私は社会人になってからこの校訓の教えに助けられたことが何度もありました。グローバル化が進む世界情勢において、日本人の男として礼を持って自主自律の精神と誇りを持ち続ける事がとても大事だと考えます。鎌倉学園の生徒および卒業生は自由な校風の中でこの校訓の教えが体得出来ており、グローバルな社会に出て上手に対応ができ、周りの人間を引っ張る事ができる社会人になると信じています。

現役PTA会長としてこの会に参加させていただいているため、各校のPTA活動の状況等も情報

交換させていただき、鎌倉学園PTA活動の参考とさせていただきますと幸いです。

微力ではありますが、私学の更なる発展と各校の子ども達のために何が出来るかを考えつつ神奈川県私学保護者会連合会理事として仕事を進めていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

新理事
坂本 綾

(柏木学園高等学校 後援会)



柏木学園高等学校は地図で見ると大和市のちよど中心という場所にあります。歴史ある学園で75年前にそろばん塾から始まり、平成9年に高等学校を創立。古くから地域に根付いた学園で地域の方から親しまれています。

今年度から新しい校長先生をお迎えし、さらに教員力を高め、サポート体制を充実させた指導力のもと、生徒一人一人の可能性や個性を大切に、進路実現に向けて3年間しっかりと心身ともに育てたいだけです。また、魅力ある学習活動のひとつに、夏休み期間中のカナダ短期留学があります。生徒たちの視野を広げ、世界を広げる素晴らしい機会を得ることが出来ます。

保護者の方に参加していただく後援会は教職員の方々と協力し、生徒たちの学校生活のお手伝いをさせていたいただいています。行事のサポートや文化祭での豚汁販売など、1年を通して楽しく活動をしていきます。

この度、ご縁があつて神奈川県私学保護者会連合会の理事を仰せつかりました。皆さまのご指導のもと、私学の発展と子どもたちの為に務めさせていただきます。よろしくお願致します。



●2021年度 神奈川県私学保護者会連合会 役員

役職名	氏名	所属団体名・役職名
会長	鴨下 博厚	洗足学園中学校・高等学校 洗足会顧問
副会長	深谷 祥子	藤嶺学園藤沢中学校・高等学校 PTA 担当役員
	加賀美博之	聖光学院中学校・高等学校 後援会理事
理事	庄司 由紀	横浜富士見丘学園中学校・高等学校 PTA 副会長
	濱野 弘規	横浜雙葉学園 後援会執行委員
	坂本 綾	柏木学園高等学校 後援会
	鶴岡 和雄	横浜清風高等学校 PTA 常任顧問
	米本 麻紀	サレジオ学院中学校・高等学校 保護者会副会長
	青木八重子	横浜学園高等学校 後援会副会長
会計理事	鬼頭 毅	鎌倉学園中学校・高等学校 鎌倉学園 PTA 会長
	吉成みち子	横須賀学院中学校・高等学校 教育賛助会会長
監事	浅見 昌宏	立花学園高等学校 PTA 参与
	木村 美佐	鎌倉女学院中学校・高等学校 家庭会顧問
	稲葉 夏美	武相中学校・高等学校 PTA 相談役

特集

『コロナ禍における私学の現状と課題』

かつて経験をしたことがない新型コロナウイルス感染症のまん延によって、昨年度は全国の学校が2ヶ月以上の休校という措置になり、日々の学習活動はもちろん、部活動・クラブ活動や各学校で計画されていたすべての儀式・行事が中止または延期となってしまいました。

そして、現在第5波が懸念され、感染状況が改善されたとは言えず、様々な制約の中で、校長先生方には学校運営にご苦労されている現状があります。

実は昨年度末にシンポジウムを計画し、神奈川県私学のリーダーシップをとっていただいている3人の校長先生方と、私立学校の教育活動を支えていただいている神奈川県私学振興課長様から「コロナ禍における私学の現状と課題」というテーマでお話を伺う機会を考えました。

本来ならばシンポジウムを開きたいところでしたが、新型コロナウイルス感染症拡大の防止の観点から見送りました。

そこで、改めて4名の方にこのテーマで執筆していただき、神奈川県私学保護者会連合会加盟校の保護者の皆さんと共有し、新型コロナウイルス感染症を共に乗り越える機会にしたいと思います。

『コロナ禍と私学』

聖光学院中学校・高等学校

校長 工藤 誠一



2020年から始まったCOVID-19の感染拡大は現状も神奈川県私学に通う生徒たちはもちろんのこと全世界の子供たちの教育活動や日常生活に対して大きな障壁になっている。2020年3月からは一斉休校の要請が政府からなされてその対応に振り回されたのが偽らざる実情であったのではないだろうか。

オンラインによる双方向の授業への取り組みなどは公立に先駆けて実施した学校も多数あり、私学のICT教育への取り組みの先進性が実証されたと考えている。モバイルLMS貸与のための予算措置が県によって準備されたが私学においては既に家庭においてLMSの準備があり各校からの希望が想像以上に少なかったのが実情であった。協会に寄せられる相談の多くは、感染者が発生した時の対応、修学旅行などの宿泊行事や学園祭、体育祭に関するものが多く、それぞれの学校が生徒に対する対応に真剣にのぞみ独自の解決策を模索している様子をつかがい知ることができた。公立学校が教育委員会の方針のもとで一律の方向性であるのとは大きな相違点であったのではないだろうか。

私学各校はオンライン授業への取り組み或いは再開後の補講などの実施もあり生徒への学力保障を担保することができたと考えている。オンライン授業は休校などの遠隔授業、あるいは課題提出、生徒間における共同ワークなどに活用できる利点があることは言うまでもない。

一方、中高生においては対面による授業が重要であることを身をもって知らされた。授業理解の程度の格差が生徒個人によって著しく異なるからである。社会人、大学生が会議や講義に向かうのと、強制的に授業を受けさせられているのでは大きな違いになってくる。教室の授業でも起こりうる個人差は家庭で画面に向かう場合にはより顕著に生じる。また、多少授業時間を短くしても視力をはじめ生徒の疲労感はかなり大きなものがあるといわざるを得ないのではないかと思う。

休校に伴う家庭での孤独、あるいはクラブ活動をはじめとするアクティビティが思うようにできずにストレスや孤独感にさいなまれる状況が増加していることも事実である。修学旅行、学園祭、体育祭などの生徒にとっては人生の中で一度しかない中高時代の経験ができない状況に直面して教育現場に携わる者として歯がゆく、忸怩たる思いでいっぱいである。

こうした状況下でも私たち神奈川県私学協会はコロナ禍が継続している中でも昨年から加盟校に通う生徒のために全国でも注目されている修学支援センターを開設し、不登校生徒への支援を行っている。また、加盟校の教職員に対するワクチンの職域接種を行い、感染拡大の防止に最善を尽くしている。いつの時代にも生徒たちと共に歩むことを第一に考えてのことである。協会としての日々の取り組みに対して保護者の皆様には引き続きご支援とご協力をいただければ幸いです。

『学校行事・部活動・生徒募集について』

横浜学園高等学校

校長 田沼 光明



新型コロナウイルス感染症が7月に入ってまた拡がり始めています。昨年度と比べて少しずつ行事や部活動が戻りつつある中で、再度難しい対応が迫られる可能性があります。状況を客観的に見据えながら、生徒の安全を第一に考えて各学校が計画を作成中です。

(1) 学校行事の現状と対応について

学校行事では感染症対策を充分行っています。儀式的行事である入学式、卒業式、始業式、終業式などは、ソーシャルディスタンスをとりながら、時差分散で、また各教室で放送によって行われるなど工夫して行われました。文化的行事である文化祭は、規模縮小、学年毎に日を変えて実施、飲食なし、客席のソーシャルディスタンスをとる、会場の換気、外部入場者の制限など感染症対応を考慮して計画されています。健康安全・体育的行事である体育祭は、昨年度中止となった学校もありますが、規模縮小、学年毎に日を変えて実施などで行うことが考えられています。修学旅行など、旅行・集団宿泊的行事は、県のガイドラインでは、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置実施期間中は中止または延期となっております。これを参考にして昨年度は中止となった学校も多かったと思います。今年度は何とか行いたいと計画している学校が多いですが、感染者の増加が懸念されます。修学旅

行は、秋実施を春に延期する学校も出てきています。県助成としてキャンセル料の補助が今年度加わっています。

(2) 部活動の活動状況と対外試合について

部活動の練習については、時間、場所などの制限を設けながら、各学校の判断で徐々に復活していきます。クラスターとなりやすいため感染症対策が必須となります。

昨年度全国大会ができなかった高体連では感染症対策を徹底しながら試合を行っています。高校総体開会式はWeb開催となりました。7月の試合では感染症により棄権する学校も出始めており懸念されますが、生徒の活躍を期待します。

昨年度、全国選手権大会が中止となり、県独自の大会を行った高野連では、全国選手権大会が復活し、制限を設けながら観客を入れた県大会が行われました。

高体連では、昨年度オンラインによる活動が多くなりましたが、今年度は制限を設けながら復活しています。全国総文祭和歌山大会にも規模を縮小して派遣することが決定されています。

なお、生徒の公式試合参加には保護者の承諾書が必要です。

(3) 生徒募集・入試時の配慮について

昨年度、密を避けるため、私立高校では一般入試で書類選考入試が多く行われました。今年度は感染症の状況によりわかりませんが、従来の入試にも同じことが望ましいと思います。なお、書類選考入試にも学科試験に代わる課題が課せられます。

中学入試では、私学協会による新型コロナウイルス感染症等に対する共通追試（国語、算数、社会、理科）が2月21日に行われます。この制度を利用するかどうかは各学校の判断となります。詳細は協会または各学校にお問い合わせください。

ださい。

8月に緊急事態宣言が出されました。生徒の安全を第一に教育活動を模索していかなければなりません。努力してまいります。保護者、生徒の皆様のご健勝を祈念しています。

『小学校の取組』

『小学校における指導と学力保障等について』

桐光学園小学校

校長 斎藤 滋



2020年2月28日に政府から「来月2日から春休みに入るまで臨時休校とするように要請する」という考えが示されました。そのころ各々学校では、日々変化する感染状況をしながらどのように対応するかを話し合っていたと思いますが、政府の要請によって、休校は避けられないものとなりました。子どもたちの学びをどのように継続できるか、突然自宅で過ごすことになる子どもたちの心の安定は維持できるだろうかなどを考えながら、学校として何ができるか、何をすべきかを考えすぐに実行に移さなければなりません。新年度のスタートは学校でとりたいかと思いますが、それも緊急事態宣言の発出によって不可能となり3月から5月の休校期間、そして6月の分散登校期間も含めた対応が必要となりました。

当時、オンライン授業にすぐに対応できた学校はそれまでにICT教育に力を入れていた一部の学校だけで、ほとんどの学校がゼロからのスタートと言ってもよかったです。公立学校と違い

学校に対して公的な機関から適切な指示や支援はありません。しかし、「法人の理解と支援のもと、各学校の教員集団のやる気や思い切ったことができる」のが私立学校の高さでもあるのです。また、2011年の震災時の大混乱を教訓にして各校のつながりを意識的に作ってきた私立学校間の横のつながりによって、他校の取り組み状況を知ることができたことも大きな力とすることができました。

さて、インターネット環境を利用した学習指導・支援が可能になった理由の一つには、ほとんどの家庭にWi-Fi環境が準備されていたことがありました。また、子どもたちが利用できる機器（パソコン、タブレット、スマホなど）を用意していたこともできず、このような環境を利用した学習と子どもたちとの交流が行われてきたのが昨年度の多くの学校の実態でしたが、そのような学習指導・支援は子どもたちの学びの保証につながったのでしょうか。いろいろな議論があるところですが、多くの人は子どもたちの学びはやはりこのような形式では十分なものではないと実感したのではないのでしょうか。子どもたちの日常において、大切なのは教科の「学び」だけではありません、子ども同士ふれ合いの中での「学び」の大切さを私たちは改めて知ることになります。

子どもたちが分散・時差登校から平常登校に移行していく中で、学校では感染防止のための「手洗い・手指消毒・マスク着用」と「施設の消毒作業」を徹底すること、密を避けるような学校生活の工夫は現在も継続しています。コロナの収束まで皆で力を合わせていくことが大切であると考えています。

『コロナ禍における行政からの支援について』

神奈川県福祉子どもみらい局
子どもみらい部私学振興課

課長 山中 毅



○私学行政における本県の役割について

神奈川県では、県内私立学校の振興と私立学校で学ぶ子どもたちが安心して勉学に打ち込めるよう支援に努めています。

神奈川県私学振興課は、教育指導、認可、助成、検査分析の4グループ体制から成り、保護者の皆様からの教育相談、私立学校等の設置認可、学費補助の御案内や私立学校に対する助成、検査指導等を行っています。

○コロナ禍における県からの支援について

教育指導グループには、新型コロナウイルス感染症に関する御相談が多数寄せられました。御相談者様のお気持ちに寄り添えるよう丁寧な対応に努めてきました。また、学校での感染症対策に関する保護者の皆様からの御意見をお伝えするなど、学校との橋渡しを行い、お子様が適切な環境で学校生活を過ごせるよう努めてきました。

さらに、文部科学省の衛生管理マニュアルや抗原簡易キットの配布などのお知らせ、県知事からのメッセージや感染症への対応に関する留意事項などを学校へ送付し、感染症対策がきちんと行われるよう情報提供に努めてきました。

一方、助成グループでは、詳細は後述しますが、学校における感染症対策等を徹底しながら学習を保障するために必要となる経費の補助を行っています。

○コロナ禍の私立学校に対する予算について

本年度の当初予算において、感染症対策を強化するために必要となる保健衛生用品等の購入経費等の補助として1億6,440万円の予算を計上しています。

さらに新型コロナウイルス感染症拡大の影響に伴う修学旅行等の中止又は延期によるキャンセル料について、保護者の皆様の経済的な負担軽減を目的として、学校設置者が負担した経費を補助するため、令和2年度に引き続き、6月に約1億1,258万円の補正予算を計上するなど、一層の支援の充実に努めています。

○家庭の経済状況の悪化に対する対応について

県では、7月1日現在、生活保護生業扶助を受けているか、または申請年度の保護者全員の県民税・市民税所得割額の合算額が非課税である世帯を対象として授業料以外の教育費を補助する「奨学給付金」を御用意しております。これは、家計急変により、非課税世帯相当となる世帯も対象となります。

また、令和3年中の所得が前年に比べて減少し一定の基準額を下回った場合には、「緊急支援補助金」の御利用が可能です。新型コロナウイルス感染症による家計急変も対象となります。例年12月頃、学校を通じて募集をしています。

その他、県や団体が行っている貸付制度もございます。御紹介した補助金等の詳細については、ホームページを御覧ください。

<http://www.pref.kanagawa.jp/docs/v3e/iyosei/gakuhisien/index.html>

今後、神奈川県私学振興課では、未来ある子どもたちの学びの保障を確保するとともに、安心して学業に専念できるよう更なる支援の充実に努めてまいります。

私立学校への

「経常費助成補助」の

増額を求めて

9月8日 神奈川県庁新庁舎

小島健一県議会議長へ請願・署名を提出

私立中学高等学校協会役員4名と私学保護者会連合会の役員3名が県庁を訪問し、私立学校の保護者負担の軽減と各校の教育条件の維持向上に向けて、私学への「経常費助成補助」の増額等を県議会議長に提出しました。

6月3日に全加盟校にお願いした「経常費助成補助」に関する署名は、全校の学校・法人・保護者代表から249名が集まり、県新庁舎の議長室において、中高協会理事長の工藤誠一理事長と保護者会連合会の鴨下博厚会長が代表して、小島健一県議会議長に提出しました。

請願の理由

神奈川県は私学発祥の地であり、県下の私立中学校・中等教育学校・高等学校は、独自の伝統と校風を守り、建学の精神を現代に生かし、有為な人材の育成に努力し、本県教育の充実発展に貢献してまいりました。

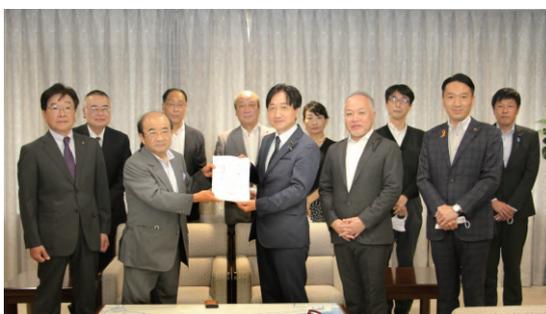
幸い、本県においては、私学に対し、知事をはじめとする県当局並びに県議会議員の皆様の深いご理解とご支援のもとに、私学助成の充実が図られてきました。

さて、今日、私学経営はますます厳しい時代に入っております。とりわけ経常費補助金については、全国的に見ると未だ生徒一人当たりの単価は、高等学校（全日制）、中学校、中等教育学校ともに国の財政措置額を大幅に割り込み、全都道府県の中で最低の水準にあります。しかしながら、神奈川県は県下後期中等教育の約三分の一という役割を担っている

ることから、県下教育を担当している責務の重大さを痛感し、県民に信頼される個性豊かで、特色・魅力ある学校づくりのため、一層努力する所存であります。つきましては、令和四年度私学助成に関し、左記の点に格段のご配慮を賜りますよう、お願い申し上げます。

請願の内容

一、令和四年度の経常費補助については、一層の増額をお願いしたい。



「保護者の願い」

福祉子どもみらい局

私学振興課長に提出

9月8日 神奈川県庁新庁舎

県議会議長へ請願署名の提出後、同じく新庁舎の会議室で、鴨下会長が今年度も中止となった県振興大会で提案予定として作成した「保護者の願い」を、私学振興課の山中毅課長に提出し、黒岩知事にお渡しいただけるようにお願いしました。

「保護者の願い」

神奈川県知事黒岩祐治様をはじめ、国会並びに神奈川県議会の議員の皆様には、日頃から、私どもの子どもたちが学ぶ私立学校教育の振興発展にお力添えをいただき、心から感謝申し上げます。

さて、現在、私立学校とそこに学ぶ子どもたちを取り巻く環境は、さまざま課題を抱えております。特に今年度は新型コロナウイルス感染症によって、子どもたちの学習・教育活動の変化、各家庭の経済状況の変化など今まで経験したことがない課題への対応に、学校も家庭もたいへん苦慮しております。そうした中で私どもが私立学校の保護者として切に望みますことは、何よりも「子どもたちが安心して学ぶことができる、充実した教育環境の整備」でございます。

もとより、わが国の将来や神奈川県の郷土発展のために、子どもたち一人ひとりが立派に成長し、社会の役割を担えるよう育てることは、私ども保護者の責任でございます。一方、私立学校の保護者として何よりも第一に望みますことは、子どもたちのそれぞれが自分の能力や希望に応じて、自ら選択した学校で充実した教育が受けられることでございます。私ども保護者は、様々な学校の選択肢の中から、教育方針に賛同し子どもに良かれと考え、私学に選ばせております。しかし、経済的にゆとりのある家庭ばかりではございません。是非とも家庭の経済状況により自由な学校選択が妨げられることのないよう、私立学校保護者への更なる学費負担の軽減、ならびに就学支援金の拡充をお願いしたいと思います。そして同時に、これまで以上に良い教育が受けられるために、私学への経常費助成の増額を望んでおります。私立学校に学ぶ子どもたちの教育環境を整備するためには、何よりも経常費補助が増額されることが必要不可欠なことと考えております。

私立学校関係者並びに私ども保護者は、新型コロナウイルス感染症の対応によって神奈川県は財政が苦しいことは十分に理解しておりますが、私立学校

に学び子どもたちの教育環境の一層の改善・充実と私立学校保護者の学費負担軽減のために、次の三点について速やかな実現を望みます。

- 一 私立中学校・高等学校・中等教育学校の経常費補助に対する補助率2分の1の継続と補助単価の充実・増額
- 一 保護者負担教育費の公立と私立学校間の格差是正と負担の軽減
- 一 私立高等学校等の全施設の耐震化に向けた国公立学校と同等の財政支援の拡充と実施

2021年9月8日

神奈川県私立学校保護者会連合会
会長 鴨下博厚



日本私立小中学校高等学校 保護者連合会（書面審議）

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、書面審議となり8月18日にその結果について報告がありました。令和2年度事業報告・決算報告、令和3年度事業計画・予算、令和3年度役員として令和4年度総会・研修会について、承認をもって可決されました。

関東地区私立小・中・高等学校 保護者会連合連絡協議会代表者会 及び研修会千葉大会 〔書面開催〕

8月27日に開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う緊急事態宣言により中止となり、書面開催となりました。各県の私学保護会等との関係資料が千葉県より送付され、活動報告・情報交換とすることになりました。

- ☆2022年度関東地区私学保護者会連合会理事会（代表者会）並びに日私学保護関東地区代表者会及び研修会神奈川大会の開催日程について（予定）
- （一）2022年度関東地区私学保護者会連合会理事会（代表者会）
2022年6月24日（金）13時30分

2021年度主な行事（含む書面会議）の出席

- ◆ 4月29日（木・祝） 2021全私立中学相談会 * 於パシフィコ横浜（中止） ↓ Web開催
- ◆ 5月11日（火） 2020年度会計監査 * 於私学会館（吉成・浅見会計理事、木村・稲葉監事）
- ◆ 6月15日（火） 2020年度書面総会 * 於私学会館
- ◆ 7月8日（木） 日私学保護総会・研修会 * 於福島（中止） ↓ 書面総会
- ◆ 7月18日（日） 2021全私学展 * 於パシフィコ横浜（中止） ↓ Web開催
- ◆ 8月6日（金） 神奈川県公立高等学校協議会 * 於私学会館（鴨下会長）
- ◆ 8月27日（金） 関東地区私学保護代表者会・研修会 * 於千葉（中止） ↓ 書面総会
- ◆ 8月31日（火） 神奈川県公立高等学校協議会 * 於神奈川自治会館（鴨下会長）
- ◆ 9月8日（水） 県議会議長への請願・私学振興課長へ「保護者の願い」提出
* 於県新庁舎（鴨下会長・深谷副会長・加賀美副会長）

※事務長会夏季研修会や理事長・校長研修会を始め、他にも新型コロナウイルス感染症の関係で開催中止になった会合が複数あります。

これからの行事予定

- ◆ 10月18日（月） 私学振興全国大会 ※日程の変更の可能性あり * 於東京・メルパルクホール
- ◆ 11月19日（金） 青少年育成研修会 * 神奈川・崎陽軒本店
- ◆ 11月 神奈川県私立中学校・高等学校振興大会（中止）

- （二） 横浜ロイヤルパークホテル
2022年度日私学保護関東地区代表者会及び研修会神奈川大会
2022年8月26日（金）13時30分
横浜ロイヤルパークホテル

